

放課後等デイサービス自己評価表

事業者向け

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			児童が過ごすための十分なスペースが確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			運営基準以上の職員配置がされている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリーの設備となっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			ST等からのアドバイスもふまえて、目標設定・振替りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			例えば災害等非常時の対応も、長期休みに訓練するなど、昨年度の結果を踏まえて業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人ホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			今年度、県の監査を受け、指摘事項を業務改善に活かしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			資格取得研修や他事業所見学、権利擁護研修、ストレスマネジメント等支援に必要と考えられる研修機会を確保している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			学校や他事業所での支援も参考にしつつ、計画作成を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		今年度、法人内の所属するSTよりアセスメントツール等についてアドバイスを受け、使用について試行し始めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			複数人でプログラム作成を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			STからのアドバイスや季節のものを入れる等、新しい活動プログラムを取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休みに独自のプログラムを設定する等して支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々のお子さんのニーズ・課題に応じて個別と集団に必要な活動を盛り込み、支援を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		普段の放課後では生活介護の送迎もある中で、十分な打ち合わせ時間を設けにくい。長期休暇中では比較的行っている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		個別の記録に入力して共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ささいなことについても、個別の記録に入力している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			組み合わせて行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者および児童の支援の担当者が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時に学校と適宜確認している。 毎月、学校から月間予定などお知らせがくる。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主に家族を通して、主治医に指示書をいただく等して実施している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			事前に保育園での様子を複数人が複数回見学するところから、細目を実施した。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			学校卒業後に移行する事業所へこちらから出向いて説明する等、適宜情報共有を行った。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			リハビリについて医療機関に助言をもらう等、行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	実施できていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			ご家族がお子さんを迎えに来られた際や面談などで、こどもの発達状況や課題について話し合い、共通理解を持っている。ケース会議にも積極的に参加している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	実施できていない。通所対象が重症心身障がい児であるため、ペアレント・トレーニングの手法以外で保護者支援を行える技術が当事業所には必要と考える。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際には丁寧に聞き取りを行い、必要に応じて職員間で共有し内容も検討して助言・支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者向け茶話会を実施している。生活介護ご利用者ご家族からアドバイスをもらう形式をとっている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付体制を整備し、かつ要望の段階でご家族からお聞きし、対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、事業所の広報誌を発行している。行事予定等もお便りにして伝えている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			十分に注意して個人情報を扱っている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードを使用する等、行っている。口頭だけでなく、毎日の連絡ノートや重要なことは紙面にして伝えている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		学生の資格取得のための実習や地元の学校の生徒の実習を受け入れる等しているが、まだ不十分であると考えている。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員間では周知し活用しているが、ご家族への周知は弱い。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を実施している。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修やセルフチェックリスト等で虐待防止のための支援の振り返りを行っている。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			放課後等デイサービスでは該当者がいないが、身体拘束を行うことについては職員間で協議し、保護者から了解を得た上で個別支援計画に記載している。また、定期的に会議で身体拘束について検討している。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		対象者なし	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットがあった際は、報告書を作成し職員間で共有している。また、再発防止策を職員間で検討し実施している。	